

9月28日：大型株が買われ、VN 指数は反発

投資家のリスク選好が進み、VN 指数は反発した。この日は外国人投資家もマーケットで買い越した。

ホーチミン市場のVN 指数は1.08%（14.32ポイント）高の1,339.31ポイントだった。前日の取引では利益確定売りを受け、24ポイントを超える下げとなったが、本日は買い戻された。

騰落別では265銘柄が上昇、118銘柄が下落した。しかし出来高は前日比で減少し、売買高は6億2,350万株超、売買代金は約13兆4,000億ドン（8億500万米ドル）となった。

エネルギー、製造、銀行セクターの大型株が買われ、指数上昇の追い風となった。VN30 指数は0.83%（11.92ポイント）高の1,451.12ポイントで取引を終えた。

エネルギー関連株は世界的な原油高に押され、午後の取引も堅調な動きを見せた。国際市場では、原油価格は世界的な需要の回復と供給の不足から直近3年の高値をつけた。

ペトロベトナムガス（GAS）は5.67%高と、VN30 指数の組入銘柄の中で上昇率トップとなった。指数の上昇を支えた他のエネルギー関連株では、ペトロリメックス（PLX）が+2%高、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）が+7%高とそれぞれ上昇した。

ホアファットグループ（HPG）、ベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BDI）、バオベトホールディングス（BVH）といった他の大型株も買われ、上昇率は1.22～3.89%となった。

ハノイ市場のHNX 指数は0.86%（3.02ポイント）高の356.03ポイントとなった。

売買高は約1億5,920万株で、売買代金は3兆2,000億ドンを超えた。

その一方で、外国人投資家は両市場で合わせて4,730億9,000万ドンを買い越した。

そのうち、ホーチミン市場で4,827億1,000万ドンを買い越し、ハノイ市場で96億2,000万ドンを売り越した。

中国恒大集団の先行きへの不安から、アジア株式市場は軟調な動きが目立った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。